

平成 24 年 5 月 24 日

相馬市

公益財団法人ヤマト福祉財団

ご取材のお願い

相馬市「農地復旧復興(純国産大豆)プロジェクト事業」の 「農業機械交付式」開催のお知らせ

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第4次助成先の1つである相馬市（福島県相馬市）は、大豆の生産、販売による農業の発展を目指す、飯豊、岩子、南飯渕の3地区の農業法人に対する農業機械交付式（相馬市長及び公益財団法人ヤマト福祉財団より計18台のトラクターの鍵を受け渡すセレモニー）を6月1日（金）午前10時より執り行います。

福島県浜通り北部に位置する相馬市は、豊かな農地を持ち、阿武隈高地から流れる澄んだ水により、農業が盛んな地域です。しかし、東日本大震災による津波により農地のみならず、農家所有であった農業機械までもが流失してしまいました。また、原子力発電所事故による風評被害は今なお続いております。

ヤマト福祉財団では、地震、津波により甚大な被害のあった福島県相馬市の農地の復旧、復興を図るために、農業法人への農業機械の購入費用3億円を本年2月、相馬市の「農地復旧復興（純国産大豆）プロジェクト事業」に助成いたしました。

これにより、個人では導入することの困難な農業機械を無償貸渡し、地域で立ち上げた農業法人が、共同作業、共同経営をすることで被災した農地の早期の復旧復興、地域農業の再建が可能となりました。



（合同会社飯豊ファーム生産予定ほ場）

相馬市の農業は復旧復興の途上にあります。震災による津波、また原子力発電所の事故による風評被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む農業法人への「農地復旧復興（純国産大豆）プロジェクト事業」に係る農業機械交付式を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

相馬市農林水産課農業振興係 担当：片平（0244-37-2147）

公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

記

1.日時 平成24年6月1日(金) 午前10時00分より

2.場所 スポーツアリーナそうま
(相馬市中村字北町55-1)

3.主な出席者(敬称略)

(1) 相馬市

市長 立谷 秀清

副市長 佐藤 憲男

相馬市議会議長 佐藤 満

産業部長 吉野 光一

(2) 公益財団法人 ヤマト福祉財団

東日本大震災復興支援

選考委員会事務局長 山内 信幸

事務局長 渡辺 聡

(3) 合同会社 飯豊ファーム

代表社員 島 光春 (構成員10名)

(4) 合同会社 岩子ファーム

代表社員 管野 美男 (構成員30名)

(5) 合同会社 南飯渕ファーム

代表社員 田中 利明 (構成員6名)

4.交付機械内容

(1) トラクター 18台及び付属品

○津波被害による瓦礫除去に必要なプラウ等の反転耕機器

○津波により塩害となった水田の除塩を目的としたロータリー等アタッチメント

○大豆の播種及び生産に必要な播種機及び大豆の選別機等

(2) 汎用コンバイン 6台及び付属品(受注生産の為秋入荷となります)

○刈取りに必要なアタッチメント

○ほ場の移動に必要な汎用トレーラー

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。3月末現在で142億円3,608万1360万円となったヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般から募金を集め、単なる資金提供だけでなく、新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指しています。第5次までに助成対象31件に対し、総額142億6,600万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ(<http://www.yamato-fukushi.jp/>)をご参照ください。